

第52回定例総会のご案内

陽春の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

2022年度末を迎え、第52回定例総会を下記のとおり開催致します。

ご多用中のところ大変恐縮ですが、ご出席頂きますようご案内方お願い申し上げます。

記

日時：2023年4月2日（日） 午後5時～7時

場所：ふれあいもみじ館 大広間

議題：第1部 I. 2022年度 活動報告

II. 2022年度 会員数・推移報告

III. 2022年度 決算報告

IV. 2022年度 会計監査報告

V. 2023年度 活動方針案

VI. 2023年度 予算案

VII. 2023年度 役員案

第2部 VIII. 小田急金森泉自治会館設立調査報告及び可否について

●総会にご出席の際には、総会資料をご持参ください。

●**出席届**または**委任状**と、**小田急金森泉自治会館設立可否**の2枚を、

3月28日（火）までに各班長へお届け下さい。

●欠席される方は、**委任状**、**小田急金森泉自治会館設立可否**の提出をお願い致します。

「委任状に委任した方の名前未記入や○印などない場合」、または「出席届を提出した方で、当日欠席された場合」は、議長に一任することと致します。

●**小田急金森泉自治会館設立可否**については、切り離して無記名で **【賛成】**・**【反対】** いずれかに○印してご提出下さい。

出席届

小田急金森泉自治会長殿

() 班 氏名 印

2023年4月2日開催の小田急金森泉自治会第52回定例総会に出席致します。

----- ✂ ----- キリトリ -----

委任状

小田急金森泉自治会長殿

() 班 氏名 印

2023年4月2日開催の小田急金森泉自治会定例総会の議決権を下記の方に委任致します。

第1部 (議題Ⅰから議題Ⅶの件)

() 班 _____ 様 ・ 議長 ・ 会長 ・ () 班班長

【委任する方の班名氏名】【議長・会長いずれか○印】【班名】のいずれか記入して下さい。
ご質問やご意見のある方は、是非ご出席をお願いします。
総会に出席ができない方は、委任者へ事前にご質問やご意見をお伝えください。

----- ✂ ----- キリトリ -----

小田急金森泉自治会館設立可否

小田急金森泉自治会長殿

第2部 小田急金森泉自治会館設立について、 賛成 ・ 反対 いたします。

【賛成・反対いずれか○印】してください。 無記名投票です。

第 52 回 定例総会資料

- I. 2022年度 活動報告
- II. 2022年度 会員数・推移報告
- III. 2022年度 決算報告
- IV. 2022年度 会計監査報告
- V. 2023年度 活動方針
- VI. 2023年度 予算案
- VII. 2023年度 役員案（名簿）

- VIII. 小田急金森泉自治会館設立検討委員会
調査報告及び設立可否について

日時：2023年（令和5年）4月2日（日）午後5時より

場所：ふれあいもみじ館 大広間

I. 2022 年度 活動報告

(基本方針)

“さまざまな活動を通して、お互いに声を掛け合い、支え合う地域づくり”

1. 活動全体の要約

世界保健機関 (WHO)が新型コロナウイルス感染症をパンデミックと宣言してから3年が経ちました。その間、日常生活もまた自治会活動も制約を受けました。2022年度は感染数の波がありましたが、次第に減少傾向にあります。自治会内には乳児から高齢者まで広く居住しています。治療方法や感染予防方法が次第に明らかになってきましたが、従来から知られる感染症対策（三密の防止、密閉・密接・密集の防止）を行って活動してきました。

毎月の役員会は予定通り12回行うことができました。防災訓練や芋ほりの実施、共催事業のバス旅行も復活しました。長年の課題である自治会館の設立について正念場を迎えようとしています。自治会活性化の一環として会員への情報発信として小田急金森泉自治会のホームページ（試行版）を昨年より公開し、当自治会の現在の動きや過去の自治会活動の内容を閲覧することが可能となり自治会活動や役員の役割なども明確になりました。

このような状況の中で、役員一丸となって以下の活動に取り組みました。

1. 防災減災の意識啓発、大地震発生時の行動マニュアル（震度5強以上）に基づく勉強会と訓練、防災資機材などの整備と管理、小川高校避難施設開設委員会への参画
2. 地域ぐるみの防犯活動及び被害情報の伝達
3. 親睦行事の実施
4. ゴミのない街づくり
5. 街づくり委員会による中長期課題などへの取り組み
6. 自治会館設立検討委員会による検討（「いずみに集う」を発刊）
7. 自治会活動などの広報の多様化（ホームページの公開）

2. 防災活動の概要

- ① 自主防災隊の体制は、本部隊員12名（防災班長2名含む）、班別防災隊員137名
- ② 定例活動（毎月や毎年、または適宜）
 - ・本部取り組みとして、活動検討、作業や訓練実施、啓発活動など（原則として毎月活動）
 - ・高齢者見守り支援ネットワーク会議参加（災害時の要支援者情報共有など年2回）
 - ・家族等データと班別防災隊員の更新（4～5月全戸一斉、転出入など随時）目的は、災害時の安否確認や避難支援などに使う資料
確認は、班長（又は班情報隊員）が直接聞き取り
資料は、本部と班長が、災害時に備え守秘義務をもって保持

- ・防災倉庫などや収納資機材の点検整備（倉庫 5 基とミニ公園機材、街頭消火器 8 基）
- ・わさび田公園特別清掃時の資機材説明（今年度は、毛布など使う人の搬送を 3 回実施）
- ③ 防災資機材の購入（新規や補強、その主なもの）や作業
 - ・購入 地域大地図、トランシーバー追加、機材付属備品各種など
 - ・作業 みずき山倉庫内テントの確認整備、備品工作など
- ④ 班長勉強会と住民訓練
 - ・地域特性と大地震発生時の班長行動 ・延焼シミュレーションと初期消火の重要性
 - ・丸型消火栓蓋部でのスタンドパイプ操法訓練
- ⑤ 本部隊員の訓練
 - ・災害対策本部の情報収集と指示出し ・スタンドパイプ操法の基本など
 - ・油圧式ジャッキを使った救出 ・人の搬送の基本方法 ・応急手当の方法
- ⑥ 研修や講演などの本部隊員参加
 - ・町田消防署講習に参加「防火・防災コーディネータ講習会」
 - ・町田市防災課講演会に参加「災害伝承プロジェクト・助けられる人から助ける人へ」
 - ・東京都オンライン研修受講「防災市民組織リーダー研修」
- ⑦ 小川高校避難施設開設委員会活動（5 自治会・学校・市職員からなり、事務局担当）
 - ・6 月 機材の組立てや運転訓練
 - ・10 月 委員によるはじめての避難施設開設訓練
 - ・11 月 全校生徒職員による避難防災訓練に、はじめて周辺自治会協働参加
- ⑧ 防災だより
 - ・第 17 号「警視庁・地震のときはこれをしよう」発行（7 月）
 - ・第 18 号消防署から「防火の自己診断と感謝状」発行（12 月）

3. 防犯活動の概要

- ① パトロールによる防犯活動の継続取組み
 - 日常パトロール活動 → 月平均 177 名 393 回（4 月～1 月の 10 ヶ月平均）
 - 年末夜間パトロール → 8 日間のうち 1 日は雨天中止となり 7 日間実施、71 名参加
- ② 特殊詐欺や交通安全などへの注意喚起の活動
 - 町田市では特殊詐欺被害が多く、全市内で 6 8 件発生しています。
 - （2022 年 3 月 23～2023 年 2 月 5 日）
 - 他の事件では侵入盗が多く、町田市南地区で 9 件発生しています。
 - （※町田市メール配信サービスより）
 - パトロールによる侵入盗抑制など、安心安全な街づくりに努めました。
- ③ 被害情報の迅速な集約と注意喚起
- ④ 青少年健全育成南第四地区委員の活動

4. 行事の概要

- ① ジャガイモ掘り 6月18日(土) 140世帯参加。(一部を合掌苑とねむの木保育園に寄贈)
- ② サツマイモ掘り 10月22日(土) 144世帯参加。(一部を合掌苑とねむの木保育園に寄贈)

5. 清掃・環境の概要

- ① 定例役員会開催日の公園清掃の定例化(わさび田、みずき山、ミニ公園)
- ② わさび田児童公園の自治会内共同清掃(11月27日、12月4日)、子ども会と共同による特別清掃(11月19日)の実施
- ③ 資源回収によるゴミ減量(毎月2週・4週目の回収)
- ④ 容器包装プラスチック分別 再度周知の為 掲示板3か所に掲示

6. 街づくり委員会活動の概要

「小田急金森泉地区街づくりプラン」における地元運営組織としての活動と、複数年度に跨るような長期的課題について、検討を行っています。

- ① 建築に関わる「事前連絡票」の確認作業→3件の報告がありました。
- ② 自治会50周年記念誌とスライドショー集録DVDの配布を行いました。
- ③ 自治会館設立の検討作業は「会館設立検討委員会」が設立され別途検討作業が行われたので、資料提供等の協力をしました。
- ④ 自治会活動の効率的運営のための検討・提案を行いました。
 - a. 新規入会案内等の提案
 - b. 班長選任ルール方法の提案と現状確認
- ⑤ 金森地区コミュニティバス運行協議会へ参加しました。
 - a. 柳橋付近へのバス停新設に向けた情報整理・協議・かわせみ号ニュースの発行
 - b. 町田市地域公共交通会議等への出席
- ⑥ 広報「ただいま考え中！」の発行
今年度は「会館設立検討委員会」への作業協力が多かったため、今年度の発行はありません。
- ⑦ 役員会・自主防災組織などとの協議・情報提供
 - a. 自治会ホームページの定期更新を行いました。

7. 自治会活動などの広報

- ① 役員会報告書(自治会報)の配布
- ② 回覧、掲示板の活用
- ③ 分かりやすいホームページへの改良
- ④ 「いずみに集う」発刊

8. 自治会館設立検討委員会概要

自治会館設立の可否を会員に判断していただくために、第51回定例総会で自治会館設立検討委員会を設置し、会員に可否判断をするための情報発信する事が決定されました。

- ① 自治会館設立検討委員会の委員候補者を、現在まで自治会館設立に取り組んできた、街づくり委員会、前期、今期の自治会役員、金森いずみクラブ、子ども会、参加希望自治会員を対象に5月に選出。
- ② 6月に第1回検討委員会を8名で開催。その後2名が加わり以降10名で毎月第一日曜日に定例会議を開催。定例会では年間スケジュールと発信内容を確認し、会報「いずみに集う」を作成し情報発信する事にした。
- ③ 以降、年間スケジュールに沿って、アンケート調査の実施・同規模集会施設3ヶ所の調査、町田市市民協働推進課・NPO 法人顧問建築家機構との情報交換会の実施、自治会館設立説明会(意見交換会)を行った。
- ④ 自治会館設立検討委員会の年間活動。定例会議10回、情報誌「いずみに集う」発行5回、自治会館設立説明会2回実施した。

担当別活動報告(1)

月	防 災	防 犯
通年	防災隊本部定例活動を原則毎月の最終日曜開催 (屋内外で、各種の検討会議や本部隊員などの訓練)	任意自治会員の年間随時防犯パトロール実施 特殊詐欺の注意喚起を自治会報にて適宜発信
4	各班の「家族等一覧・防災隊」確認を班長へ指示 「まちピカ町田くん」通報完了 (路面補修・水路清掃)	春の交通安全運動(4/6~4/15) 青少年健全育成南第4地区委員の登録(4/1)
5	本部組織の改正検討 (訓練指導員新設など) 班長勉強会「地域特性と大地震発生時の班長行動」(5/8) 都の直下型地震被害想定見直しの確認と対応 今年度の訓練計画策定	
6	自主防災隊組織表の確定全戸配付(146名) 高齢者見守り支援ネットワークとの情報確認交換 (6/7) 小川高校避難開設委員の訓練「機材操作など」(6/11) 近隣の金森中央町内会の防災訓練見学 (6/12) 本部隊員訓練「災害対策本部の情報収集と発信」	青少年健全育成委員会開催(中止)(6/29) →資料送付
7	防災だより第17号「警視庁・地震のときはこうしよう」発行 本部隊員訓練「スタンドパイプ基本操法や消火栓構造」 みずき山倉庫のテント確認	
8	本部隊員訓練「人の搬送方法の基本」	合掌苑 夕涼みゆかた祭り (8/5) お祝い金(¥5,000)・お祝い袋に入れてお届け
9	班長勉強会「大地震発生時の火災対応」(9/4) 高齢者見守り支援ネットワークと情報確認交換 (9/6) 丸型消火栓蓋でのスタンドパイプ操法訓練実施(9/25) 町田市へ自主防災組織補助金交付申請(9/26)	秋の交通安全運動(9/21~9/30)
10	16班の街頭消火器の移設 開設委員による小川高校避難施設開設訓練 (10/15)	全国地域安全運動(10/11~10/20)
11	町田消防署講習会への参加「本部の情報受発信など」 低出力トランシーバーの通信確認 「令和3年秋の火災予防運動」(11/9~15) 小川高校全校生徒職員の防災訓練に協働参画(11/18) わさび田公園特別清掃協力と毛布での人搬送(11/19・27)	
12	わさび田公園特別清掃協力と毛布による人搬送(12/4) 防災だより第18号「自己診断・感謝状」発行 班長用トランシーバー配付計画立案	年末夜間パトロール 12/10~12/17実施 (最終日雨天中止となり7日間) 計71名参加
1	本部隊員訓練「リヤカー搬送検討・救出訓練」 市講演参加「助けられる人から助ける人へ」 都オンライン研修参加「防災市民組織リーダー研修」 街頭消火器の点検(8ヶ所)	
2	本部隊員訓練「応急手当」	
3	「春の火災予防運動」(3/1~7)	青少年健全育成南第4地区委員(3/2)南4小

担当別活動報告(2)

月	清 掃 ・ 環 境	行 事
4	ごみ減量サポーター(廃棄物減量推進員)推薦・変更届申請 役員清掃(4/10) 一部公園で行う。 資源ごみ回収(4/10・24) 容器包装プラスチック分別 再度周知の為 掲示板3か所に掲示	ジャガイモ掘り地主様挨拶(4/19)
5	役員清掃(5/8) 資源ごみ回収(5/8・22)	ジャガイモ掘り案内文作成、配布(5/15) 「当日の役割分担とその流れ」を作成
6	役員清掃(6/5) 資源ごみ回収(6/12・26)	地主様と作柄・総株数の確認(6/17) バス合同旅行「金森いずみクラブと共催」(6/17) ジャガイモ掘り 140世帯参加(6/18)
7	資源化推進奨励金申請(4~6月分) 町田市廃棄物減量等推進員委嘱式(中止) 役員清掃(7/3) 雨中止 資源ごみ回収(7/10・24)	
8	役員清掃(8/7) 熱中症対策の為 中止 資源ごみ回収(8/7・21)	サツマイモ掘り地主様挨拶(8/20)
9	町田市公益活動報告書提出(上期)(10/12) 役員清掃(9/4) 資源ごみ回収(9/11・25)	サツマイモ掘り案内文作成・配布(9/11) 「当日の役割分担とその流れ」を作成
10	資源化推進奨励金申請(7~9月分) 役員清掃(10/2) 資源ごみ回収(10/9・23)	地主様と作柄・総株数の確認(10/21) サツマイモ掘り 144世帯参加(10/22)
11	役員清掃(11/6) 資源ごみ回収(11/13・27) わさび田公園特別清掃(11/19・27) * 11/19子供会と協働清掃	
12	わさび田公園特別清掃(12/4) 役員清掃(12/4) 資源ごみ回収(12/11・25)	バス合同旅行「金森いずみクラブと共催」(12/1)
1	資源化推進奨励金申請(10~12月分) 役員清掃(1/8) 資源ごみ回収(1/8・22) ごみ減量サポーター研修会・施設見学会(1/27)	
2	ごみ減量サポーター報告書提出予定 役員清掃(2/5) 資源ごみ回収(2/12・26)	
3	役員清掃(3/5) 資源ごみ回収(3/12・26) 町田市地域資源物回収団体登録(次年度担当者変更提出) 予定 町田市公益市民活動報告書(下期) 3月中旬提出予定 資源化推進奨励金申請(1~3月分)4月初旬予定	

担当別活動報告(3)

月	街づくり委員会
4	かわせみ号ニュース発行(4/2) 定例委員会(4/10) 運行協議会 三者協議(4/27) 50周年記念誌贈呈作業 ホームページ更新作業
5	定例委員会(5/8) 運行協議会全体会議(5/18) ホームページ更新作業
6	定例委員会(6/5) ホームページ更新作業
7	定例委員会(7/3) 運行協議会 三者協議(7/27) ホームページ更新作業
8	定例委員会(8/7) 運行協議会 役員会(8/31) ホームページ更新作業
9	運行協議会 三者協議(9/2)協議会会員への活動報告郵送 定例委員会(9/4) ホームページ更新作業
10	定例委員会(10/2) ホームページ更新作業
11	定例委員会(11/6) 第25回町田市地域公共交通会議(11/16) ホームページ更新作業
12	定例委員会(12/4) ホームページ更新作業
1	定例委員会(1/8) 運行協議会 役員会(1/16) 運行協議会 三者協議(1/20) ホームページ更新作業
2	定例委員会(2/5) 運行協議会 三者協議(2/14) かわせみ号ニュース発行 ホームページ更新作業
3	定例委員会(3/5) ホームページ更新作業

担当別活動報告(4)

月	会 計	書 記
4	会計業務、帳簿・通帳・印鑑の引継ぎ 業務の分担決め 各班へ会費集金依頼 入出金の事務(現金受け渡しなど) 月別収支の記帳・管理	第51回定例総会報告書の作成(作成は前期書記) 入退会に伴う会員数把握 掲示板(3ヶ所):各種ポスター掲示と貼替え 人名板表示管理(2ヶ所):転出入などの訂正(未実施)
5	入出金の事務(現金受け渡しなど) 月別収支の記帳・管理	定例役員会報告書作成・印刷・各班配布 入退会に伴う会員数把握 掲示板(3ヶ所):各種ポスター掲示と貼替え
6	同上	同上
7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	同上 上半期の予算執行状況報告	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
1	同上	同上
2	同上	同上
3	同上 決算報告書作成 次年度予算案作成 決算の会計監査	定例総会資料作成(3月上旬)、印刷(外部委託) 定例総会資料配布(3月中旬) ※定例総会議事録、総会報告作成(印刷は次期役員)

担当別活動報告(5)

月	自治会館設立検討委員会
4	第51回定例総会に於いて、自治会館設立の可否を次回総会で決議するため、自治会館設立検討委員会の設置を決定
5	委員会メンバー候補者の選出
6	第1回 検討委員会候補顔合わせ 役割分担を決定 座長稲垣会長、議長長谷川、書記安斎、広報船橋、委員森田、若梅、丹羽、岡本が決定。今後進め方について、自由意見交換(6/5)
7	第2回 検討委員会 委員に板本が加入。広報誌発行、アンケート実施スケジュール打合せ(7/3)
8	第3回 検討委員会 委員に役員会副会長・街づくり委員の猪爪が加入(8/7) 広報誌のネーミングを「いずみに集う」とし、第1号は自治会館の機能や活用について情報発信する 「いずみに集う」第1号の原稿内容確認。9月自治会報と同時配布。町田市と自治会の人口動態を議論
9	第4回 検討委員会 「いずみに集う」第2号の掲載項目の整理、アンケート調査項目の整理(9/4) 「いずみに集う」第2号は 集いの場、集会施設の可能性、市からの支援等を掲載 「いずみに集う」第2号とアンケート調査を10月の自治会報と同時配布することを決定
10	第5回 検討委員会 「いずみに集う」第2号原稿確認。アンケート原稿の最終チェック(10/2)
11	第6回 検討委員会 アンケートの集計結果の検証。回収数140/333世帯回答率42%(11/6) アンケート集計結果に基づき、今後の情報発信内容の議論 「いずみに集う」第3号はアンケート集計の数値部分を掲載する。自由意見は役員会に回りHPIに公開予定 集会施設の建設費、維持管理費、運営管理方法、集会施設の利用のされ方等が不明点に挙げられた 12月に町田市市民協働推進課、NPO法人顧問建築家機構と検討委員会の情報交換会を調整する
12	第7回 検討委員会 アンケート結果の不明点を回答するため、当自治会の建設予定規模と同規模の施設を 保有する市内の自治会を数か所調査し、調査結果を基に「いずみに集う」第4号を発行する(12/4) 上記の進めていくために、アンケート集計結果を含め、12月21日に町田市市民協働推進課と情報交換会を設定 町田市市民協働推進課情報交換会(12/21) 町田市市民協働推進課: 課長 谷博夫、係長 安達利明、 主事 内田梨香、田ノ原勇真 顧問建築家機構: 副代表理事 齋藤 和男、 検討委員会: 稲垣、長谷川、板本、丹羽、森田、若梅、岡本、 「主な議事内容と回答」 ☆設立予定地の分筆費用の予算計上: 来年度の市民協働推進課全体の予算案に組み入れて要求する 後日、小田急金森自治会・忠生中央町内会・三輪第一住宅自治会を紹介され、面会調査実施 ☆建設費用及び補修費用について: 元焼却場は建設予定地ではないのでPCB等の地質調査は不要と思う ソーラーパネルを設置している自治会については、売電価格が低下しているため、費用対効果は不明
1	第8回 検討委員会 12/21の町田市市民協働推進課との情報交換内容検証。(1/8) 「いずみに集う」第4号の掲載内容を同規模集会施設の調査結果を掲載。今後のスケジュール確認 ☆自治会館の運営方法、維持管理費、補修積立金等: 泉自治会と同規模の施設をもつ市内の自治会の紹介依頼 小田急金森自治会「柳橋会館」調査(1/14) : 小田急金森自治会 関口会長、大脇副会長 検討委員会 板本、船橋、丹羽、安斎、森田、若梅、長谷川 調査内容は「いずみに集う」第4号と自治会費設立説明会(意見交換会)で報告書配布 忠生中央町内会「忠生中央町内会会館」調査(1/28): 忠生中央町内会 矢野会長 検討委員会 : 稲垣、板本、丹羽、安斎、森田、若梅、長谷川 調査内容は「いずみに集う」第4号と自治会館設立説明会(意見交換会)で報告書配布 会館設立の可否は委任状を用いず全会員世帯対象に行い、回収された回答の過半数で可否判断する事が承認された
2	第1回 自治会館設立説明会(意見交換会)金森中央会館 19名が参加(2/4) 第9回 検討委員会 小田急金森自治会、忠生中央町内会の調査結果の検証(2/5) 第1回 自治会館設立説明会(意見交換会)の検証と改善点(2/5) 三輪町第一住宅自治会「三輪第一クラブ」調査(2/11) : 三輪町第一住宅自治会 桑原会長、今井元会長、 検討委員会 : 板本、丹羽、安斎、森田、長谷川 調査結果は第2回自治会館設立説明会(意見交換会)で報告書配布 第2回 自治会館設立説明会(意見交換会)柳橋会館(2/19) 23名が参加。意見交換と施設見学
3	第10回 検討委員会 「いずみに集う」第5号の掲載内容確認(3/5)

担当別活動報告(6)

月	会 長 ・ 副会長
4	第51回定例総会(4/3) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(4/5) 第1回定例役員会、街づくり委員会(4/10) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(4/12) イモ掘り地主挨拶(4/19)
5	第2回定例役員会、街づくり委員会(5/8) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(5/10) 自主防災隊定例会議(5/22)
6	第3回定例役員会、街づくり委員会、第1回会館設立検討委員会(6/5) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(6/7) ジャガイモ掘り(6/18) 自主防災隊定例会議(6/26)
7	第4回役員会、街づくり委員会、第2回会館設立検討委員会(7/3) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(7/5) 自主防災隊定例会議(7/24)
8	第5回役員会、街づくり委員会、第3回会館設立検討委員会(8/7)
9	第6回役員会、街づくり委員会、第4回会館設立検討委員会(9/4) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(9/6) 防災訓練(スタンドパイプ操法訓練)(9/25)
10	第7回役員会、街づくり委員会、第5回会館設立検討委員会(10/3) サツマイモ掘り(10/22) 自主防災隊定例会議(10/31)
11	第8回役員会、街づくり委員会、第6回会館設立検討委員会(11/6) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(11/8) 特別清掃落ち葉拾い:わさび田公園(11/19,11/27)
12	第9回役員会、街づくり委員会、第7回会館設立検討委員会(12/4) 特別清掃落ち葉拾い:わさび田公園(12/4) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(12/6) 年末夜間パトロール(12/10~12/17)
1	第10回役員会、街づくり委員会、第8回会館設立検討委員会(1/8) 忠生中央町内会 会館見学(1/28)
2	第1回 自治会館設立検討説明会(意見交換会)(2/4) 第11回役員会、街づくり委員会、第9回会館設立検討委員会(2/6) 高齢者見守り支援ネットワーク会議(2/7) 第2回 自治会館設立検討説明会(意見交換会)(2/19)

※ 第52回定例総会(4/2)於:ふれあいもみじ館予定

Ⅱ. 2022年度 会員数・推移報告

2023年2月末現在の総会員数 333世帯

2022年4月～2023年2月の入会員数 4世帯

同 上 の退会員数 5世帯

班別月別の会員数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1班	17	17	17	18	18	18	18	18	18	17	17
2班	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
3班	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19
4班	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
5班	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
6班	15	15	15	14	14	14	14	14	14	15	15
7班	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18
8班	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
9班	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23
10班	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
11班	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
12班	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
13班	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
14班	20	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20
15班	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
16班	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
総会員数	334	333	334	334	334	334	334	334	333	333	333

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
入会員数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0
退会員数	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0

Ⅲ. 2022年度 決算報告

Ⅳ. 2022年度 会計監査報告

2022年度収支決算報告書
(自 2022年4月1日 ~ 至 2023年3月31日)

小田急金森泉自治会

収入の部

項 目	予算額	収 入	差引増減	摘 要
繰越金	1,294,924	1,294,924	—	
会費	1,050,000	1,073,500	23,500	年会費3,000円
入会金	10,000	2,000	-8,000	入会金2,000円
補助金	310,000	315,778	5,778	
町田市資源回収報奨金		134,778		
町内会補助金		82,000		
ゴミ減量指導費				
自主防災組織補助金		51,000		
公園清掃謝礼金		48,000		
資源回収 佐野商店	2,000	5,210	3,210	
雑収入	10,000	9,215	-785	
オザワ様		5,000		
会議費戻り		2,000		
周年DVD売り上げ		2,200		
預金利息		15		
合 計	2,676,924	2,700,627	23,703	

支出の部

項 目	予算額	支 出	差引増減	摘 要
事務費	70,000	56,054	13,946	
印刷代		29,575		
用紙代等		8,765		
ホームページレンタルサーバー代		15,730		
事務消耗品費		1,984		
会議費 反省会等	10,000	8,530	1,470	
活動費	170,000	161,800	8,200	
南地区町内会連合会会費		4,000		
町田市連合会会費		6,000		
コミュニティバス年会費		1,000		
いずみクラブ助成金		114,800		94名
子供会助成金		36,000		20名
行事費	160,000	154,320	5,680	
じゃがいも掘り		82,160		
さつまいも掘り		72,160		
電灯費 街路灯電気代	8,000	9,338	-1,338	
通信費	110,000	108,000	2,000	
会長		12,000		
班長		96,000		
施設費 施設費	20,000		20,000	

項目	予算額	支出	差引増減	摘要
防災費	90,000	102,324	-12,324	
防災会議 会議室使用料		2,000		
その他備品		418		
消耗品費		12,851		
交通費		4,086		
コピー用紙代		2,355		
トランシーバー電波利用料		5,218		
印刷代		4,851		
コピー代		7,545		
トランシーバー購入費		63,000		
会長費	60,000	60,000	-	
寄付協力金	60,000	30,000	30,000	
青少年健全育成助成金		-		コロナ禍での自粛
町田市社会福祉協議会		10,000		
赤い羽根募金		20,000		
慶弔費		20,000	-20,000	
香典・香典袋		20,000		
交際費	24,000	7,000	17,000	
浴衣祭り祝い金		5,000		
成瀬夏祭り祝い金		-		コロナ禍での自粛
自治会連合交際費		-		コロナ禍での自粛
町田消防団出初式		-		コロナ禍での自粛
絵画お礼		2,000		
年賀詞交歓会		-		
交通費				
バス・電車等				
備品費	10,000	8,800	1,200	
備品費	10,000	8,800	1,200	
研修費	20,000	-	20,000	コロナ禍での自粛
研修費	20,000	-	20,000	コロナ禍での自粛
積立金		1,000,000	-1,000,000	2021, 2022年度分
会館設立準備金		1,000,000	-1,000,000	2021, 2022年度分
50周年記念事業費	250,000	174,602	75,398	
雑費	10,000	-	10,000	
雑費	10,000	-	10,000	
会館設立検討委員会費	150,000	26,555	123,445	
会館設立検討委員会費	150,000	26,555	123,445	
合計	1,212,000	1,927,323		
予備費	160,000	-	160,000	
繰越金	0	773,304		

特別会計

積立金 会館設立 準備金	2021年度JA町田 南支店 定期預金	13,734,559
	2022年度決算額(積立金より繰入れ2年分)	1,000,000
	利息	139
	合計	14,734,698

2022年度 総収入額	2,700,627
2022年度 総支出額	1,927,323
2022年度 繰越金	773,304

2023年3月31日 2022年度会計決算を上記の通り報告致します

会計 8班 中野聡臣

会計 2班 松本浩昭

2023年3月31日 会計監査の結果、相違のないことを認めます

会計監査 木戸岡 稔

会計監査 各務 修久

V. 2023年度 活動方針

(基本方針)

“さまざまな活動を通して、お互いに声を掛け合い、支え合う地域づくり”

(活動全体の方針)

1. 防災減災の啓発、大地震発生時の行動マニュアル（震度5強以上）等に基づく各種訓練、住民実態の確認更新、防災資機材の整備と管理、小川高校避難施設開設委員会への参画
2. 地域ぐるみの防犯活動及び被害情報の伝達
3. 親睦行事の実施
4. ゴミのない街づくり
5. 街づくり委員会による中長期課題などへの取り組み
6. 自治会会館設立の決議の結果の対応
7. 自治会活動などの広報の多様化
8. 自治会会員の加入の増進

(個別活動の方針)

1. 防災活動

従前活動を継続し、内容充実・習熟度向上・防災減災の意識行動の啓発などに努める

- ① 住民実態の確認更新（家族等一覧）
班別世帯別に、支援要望など家族特性別人数、災害時協力者、班別防災隊員など
- ② 災害発生後の避難生活時の支援体制の継続検討
行政などとの情報伝達や支援物資受取り、見守り支援や地域安全確認などの仕組みづくり
- ③ 高齢者見守り支援ネットワークとの災害時要支援者情報の共有
- ④ 班長勉強会「大地震時の班長行動」「初期消火や延焼防止の重要性」
- ⑤ 本部隊員や住民の訓練（安否確認・消火・救助・避難・避難広場設営・避難施設開設など）
- ⑥ 防災倉庫や屋外設備などの資機材管理と充実整備
- ⑦ 「自治会報」「防災だより」などの広報
- ⑧ 小川高校避難施設開設委員会活動への参画

2. 防犯活動

- ① パトロールによる防犯活動の継続取り組み
- ② 特殊詐欺などへの注意喚起などの活動
- ③ 被害情報の迅速な集約と注意喚起

- ④ 青少年健全育成南第四地区委員の活動
- ⑤ 特殊詐欺の事例紹介、自治会員への周知・防犯意識向上の啓蒙活動

3. 行事

- ① 芋ほり（初夏はジャガイモ掘り、秋はサツマイモ掘り）
- ② バス研修旅行（金森いずみクラブと共催）

4. 清掃・環境

- ① ゴミ出しマナーの啓発
- ② みずき山ふるさとの森、わさび田児童公園、金森ミニ公園の共同清掃
- ③ 資源回収によるゴミ減量

5. 街づくり委員会

- ① 建築に関わる「事前連絡票」の確認作業
- ② 自治会館設立に関わる情報収集と調整
- ③ 金森地区コミュニティバス運行協議会への参加
- ④ 広報「ただいま考え中！」の発行
- ⑤ 自治会活動の効率的運営のための検討
- ⑥ 自治会ホームページの定期更新と内容の充実

6. 自治会活動などの広報

- ① 役員会報告書（自治会報）の配布
- ② 回覧、掲示板の活用

一 般 会 計

小田急金森泉自治会

項 目		2022年度決算額	2023年度予算案	摘 要
収 入	前期繰越金	1,294,924	773,304	
	1 会 費	1,073,500	1,059,000	@3,000 353世帯
	2 入会金	2,000		
	3 補助金	315,778	310,000	
	4 資源回収	5,210	2,000	
	5 雑収入	9,215	10,000	
	小 計	1,405,703	1,381,000	
	合 計	2,700,627	2,154,304	
支 出	1 事務費	56,054	70,000	総会資料他
	2 会議費	8,530	10,000	反省会
	3 活動費	161,800	170,000	いずみクラブ、子供会助成金他
	4 行事費	154,320	170,000	じゃがいも、さつまいも掘り
	5 電灯費	9,338	8,000	街路灯
	6 通信費	108,000	110,000	役員通信費
	7 施設費	-	20,000	
	8 防災費	102,324	100,000	トランシーバー他
	9 会長費	60,000	60,000	
	10 寄付協力金	30,000	60,000	赤い羽根, 歳末助け合い
	11 慶弔費	20,000		
	12 交際費	7,000	24,000	合掌苑ゆかた祭り・市連賀詞交換会 消防団出初式・フラワーロード祭り
	13 備品費	8,800	200,000	プロジェクター、スクリーン
	14 研修費	-	20,000	街づくり委員会など
	15 50周年記念事業費	174,602		50年史 印刷費用
	16 雑 費	-		
	17 会館設立検討委員会費	26,555		
	18 会館設立準備金	1,000,000		
	19 予備費	-	160,000	
小 計	1,927,323	1,182,000		
特別会計へ繰り入れ				
合 計	1,927,323	1,182,000		
次期繰越金	773,304	972,304		

特 別 会 計

積立金 会館設立準備金	期首残高	14,734,698
	予算より繰入	
	受け取り利息	139
	合 計	14,734,837

Ⅶ. 2023年度 役員案

小田急金森泉自治会

役 職	班	氏 名	備 考
会 長	7	稲 垣	
副 会 長	2 1 3	廉 沢 森 田	
書 記	4 1 5 1 6	西 川 柴 田 関 根	
会 計	1 1 1	若 林 莊	
防 災	3 1 2	木 田 竹 村	
防 犯	8 1 4	清 原 寺 本	
行 事	6 9	広 田 大川 (光)	
清掃・環境	5 1 0	中 橋 本 郷	
街づくり委員	7	執 印	

会 計 監 査	2 8	松 本 中 野	
自主防災隊長 副隊長	3 2	丹 羽 早 坂	
街づくり委員会	2 2 3 5 7 8 8	船 橋 長谷川 丹 羽 岡 本 稲 垣 板 本 安 齊	
相 談 役	2 8	長谷川 板 本	

Ⅷ. 小田急金森泉自治会館設立検討委員会調査報告及び設立可否について

自治会では毎年総会での決議を受けて、自治会館設立に向けた資金積立・調査検討・交渉などを行ってきました。町田市から会館用地が提供可能との返答を受けて、会館設立検討委員会が発足し、会員からのご意見や他集会所見学なども参考に実現可能性を多角的に調査してきました。以下に調査結果を整理しましたので、ご一読の上、会館の設立可否について3月28日までにご回答をお願いします。

なお、会館設立やこの資料に関するご不明な点がございましたら、下記の委員までお問い合わせください。

長谷川 090-8840-1310 船橋 080-5015-8995 丹羽 090-4019-4671

会館設立検討委員会 調査報告

当自治会を取り巻く環境

- 人口動態（第2期町田市人口ビジョン2022年3月など、市HP参照）
 - ・人口は、日本全体で既に減少、東京都ピーク過ぎ、町田市は現在がピークで、いずれも今後減少します。
 - ・人口減少するが、都市集中傾向は進むとともに、一世帯当たりの人数も減ります。
 - ・当地域も人口減るが、利便性や条例の効果などで世帯減は限定的と考えられます。
 - ・将来にわたり自治会加入へ力を注ぎ、地域力維持が重要な取組みとなります。
- 地域は地縁で、活動は大切、成果は気付きにくい（50周年記念誌に詳細掲載あり）
 - ・過去～現在～未来の地縁共同体で、世代交代と変化を重ね継承中です。
 - ・変化に対応するため、参加方法や情報交流など活動継続に工夫が必要です
 - ・今まで活動 ⇨ 「知り合う・催し」「まちの環境整備・保全」「防犯・防災」など
 - ・その成果 ⇨ 「暮らしの安全安心」「地域と個人の資産価値保全」など
- ふれあいもみじ館
 - ・60歳以上の人の高齢者利用施設で、本来役員会などで使えません。
 - ・現状は、空いている場合に限るとの条件で特別扱いです。
 - ・市所轄課は、2022～2024年に市内6カ所の「ふれあい館の在り方」を検討中で、検討後、その後の自治会使用は確約できないとのことでした。

集会施設の目的

- 集会施設の効用
 - ・今までの活動を大きく超えて、集い・知り合う・より自由な利用・事務所機能・豊かで安心な暮らしの増進など、地域活性化の核となるツール（道具）として活用。

●事務所機能

- ・少数相談や作業場所、文書やデータ管理・事務備品など**共有し効率化**が必要です。
- ・現在の自治会運営は、特定個人への負荷の偏りと属人化の危険性、自治会の事務備品あるも知らないなどで、不活性・不便・重複など非効率な実態です。
- ・IT化しているが、個人や世代使用格差がありデジタルとアナログ対応が必要です。

●防災拠点

- ・いつ起きてもおかしくない大災害に備え、特にライフラインや物資供給がままならない長期被災生活では**各種の情報や支援などの防災拠点**が必要になると思います。

●集会施設の利用方法（同規模3集会所の間取り見学から、**多くのヒント**を得ました）

- ・自治会、子ども会、金森いずみクラブの正式活動
- ・発災～長期の防災拠点
- ・楽しみや学習、世代またぐものなどの例
趣味サークル多数、自由な語り合いの場、パソコン教室から手軽な料理教室まで身近な生活知識など学習、子どもたちの活動・読み聞かせ・勉強援助・夏休み活動など、発表会や文化祭（各種作品・音楽など趣味発表）など
- ・自由な発想で利用方法を開拓する**自治会の前向きなチャレンジ**になるでしょう！

これまでの取り組み

●場所探し

- ・自前で空地購入や借家は、自治会の予算に対して高額過ぎて除外しました。
- ・みずき山は個人所有の土地で、市は税免除などで森を残す政策地なので、集会施設の設置は目的外のため提供対象になりません。
- ・市は（当自治会のため）空き家利用条例を制定・施行し声掛けしたが、提供者ありませんでした。（一般に、普通住宅では20名程度の活動スペースの物件はない）

●候補土地

- ・市のふれあいもみじ館北側の**約60坪（約200㎡）を無償提供**できるとのこと。
- ・提供には、土地管轄を高齢者福祉課から市民協働推進課へ移管する手続きが必要で市は、そのための測量や分筆などについて予算措置中です。
- ・土壤汚染の心配ありません。（市から回答で、過去のゴミ焼却施設位置ではない）

●積立金

- ・自前集会施設を持つことを目的に、毎年総会で積立額の議決を経て、**現在約1,400万円**（長期にわたる積立で、**平均年額は約50万円**）となっています。

市の補助金制度

●総工事費の1/2で最大1,500万円です。

- ・補助対象は、設計・監理・建築工事と建物に付随する調査や付帯設備のほか、備品では、机・いす・消火器です。
- ・集会施設に対する補助金のため、事務所だけでは対象外で土地提供も対象外です。
- ・市の補助率が減っている（従前3/4が現在1/2）と同時に、最近、古い集会施設の長期修繕が目白押しの年度待ちで、早い申請が必要な状況です。

建物や建設費について

●建物大きさや建設費の見通し

- ・候補地にも建てられそうな規模の集会所3ヶ所を訪問し聞き取り調査を行いました。
- ・いずれも総工事費2,000万円程度（設計・施工、補助金含む）
- ・太陽光発電と蓄電設備を設けます。（補助金対象）
- ・最近では工事費高騰や、候補地には高低差や電柱があり、+αの費用が必要です。
- ・トータルコスト（建設＋維持管理）を減らす建設時初期投資の考えが、重要です。
- ・現在積立額＋補助金でも、以上の対応をカバーできそうです。

●建物に設ける機能

- ・集会室広さ目安 約9m×4m（もみじ館2階は、洋室和室共に約7m×3m）
- ・収 納（壁面収納などで、文書・事務備品や機器・遊び道具など）
- ・事務室（できれば集会室とは別に、数人のミーティング・事務機器・作業）
- ・トイレ（A：車いす使用・B：普通として、A＋BまたはAのみ）
- ・玄関、キッチンシンクと作業台、エアコンなど
- ・外 構（自転車置き場・防災倉庫・庭の植物活用など）

維持管理について

●同程度集会所3ヶ所の実態と我が自治会運営可能性

- ・同規模集会施設では、日常維持管理費と長期修繕積立金で年額30万円程でした。
- ・我が自治会は333世帯・年会費3,000円で、以下3ヶ所に比べ財政余裕あります。

会員世帯	215	275	120
年会費（円）	3,000	3,000	4,200

●ランニングコスト（日常的維持管理費）

- ・年額目安 約10万円（但し、以下の条件や考え方が根拠です）
- ・一般住宅規模ですが、ガス・風呂なし、夜間使用少ないなどの特徴があります。
- ・ガスなし（必要に応じ低コストの卓上コンロ・自前電気利用）
- ・上下水道は、トイレ主体で年約2万円です。屋外散水は雨水利用します。
- ・太陽光発電と蓄電設備主体の電気利用で、少額電気料金で変動も受けにくいです。

- ・火災保険料は、年約 5 万円です。
- ・運営作業が必要です。（予約受付・鍵受渡し・利用料收受・掃除など）
- ・運用ルールと会館担当係の用意が必要です。
（オンライン予約などのアプリあり、掃除は利用者原則や定期簡易実施など）

●長期修繕費

- ・年額目安 約 20 万円（但し、実際修繕時には、これに市補助金を加わる条件）
- ・毎年一定額積立して、劣化大規模修繕に備えます。
- ・大規模修繕は、新築から 10～15 年目、その後も定期的に行い、しっかり取り組めば木造でも 50 年はもちます。
- ・建替えや電気設備など取替えなどの費用も、修繕計画に含めます。
- ・取り壊し費用は建設費の 1/15 程度（150 万円程度）で、建替え積立に含めます。
- ・長期修繕計画は、NPO 法人顧問建築家機構へ策定を委託します。

●資金確保について

- ・集会施設の建物保全や運営継続には、原資確保が必要です。
- ・その方法として、会員数確保が重要となり、資源ごみ回収、貸出し収入、バザーなど収益事業など、見学自治会でも取組んでいました。

以上

以上報告をご理解の上、可否表明のお願い

別紙「参加・委任状」（記名）に続く、「会館設立の可否」（無記名）を○印で意思表示
お願い致します。可否判断は、提出者数の過半数を占めた方と致します。

なお、可決の場合は（仮称）自治会館建設委員会、否決の場合は（仮称）自治会活動検討委員会を、早急に設けて課題に取り組むことになると思います。

いずれの場合も、わたしたちのまちの新たなチャレンジ

になると思いますので、会員全員、新たな気持ちで積極的なご参加ご協力を取組んでいく
ことをお願い致します。